

県立宮古短大

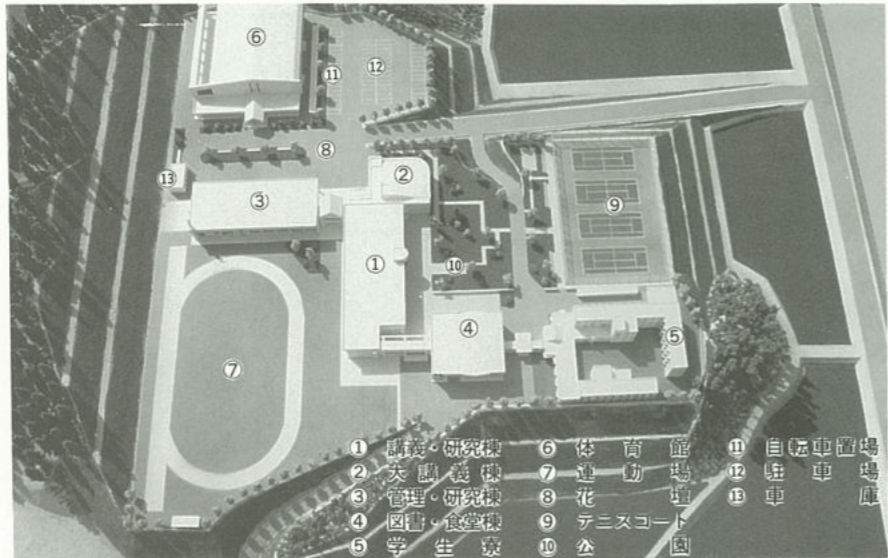
海辺のカレッジ来春開校

鉄筋の骨組み、むきだしのコンクリート、ヘルメット姿の作業員、行き交うトラック。ここは、宮古市八木沢。来年4月に開校を予定している県立宮古短期大学の工事現場だ。

宮古短大は、東北の国公立短大では初めての経営情報学科を置く。修業年限は2年間。定員は1学年100人(男女共学)。経営管理の専門知識や簿記会計の実践的能力の学習研究など、情報化社会に対応できる情報処理の理論と知識・技術を学ぶ。さらに秘書、国際理解など幅広い視野をもった実務型の人材育成を目指す。この新しい短大の設置は、来月下旬の文部省認可で正式に決定される。

急ピッチで進行する校舎の建築工事。来月10日には完成の予定だ。コンピューターの演習室をはじめ、語学演習教室、大講義室などには、学習を効果的に進めるための最新の機器が導入される。短大では、施設などを多くの人々に活用してもらおうとできる限り開放することとしている。

地域に密着し、地域リーダーを養成する宮古短大。学生募集活動は認可を受けてから展開される。



▲施設配置図、約5万6,000平方メートルのキャンパスに立ち並ぶ施設



◀語学演習室に導入される機器。4台の大型テレビを使っているグループ授業ができる



▲図書は9,225冊、学術雑誌は50種購入

やっぱり就職のこと考えます。

短大への進学を希望しています。学校では、医療系、短大進学コースのクラスに入っているんですが、全部女子。短大は女子型の大学という意識があるみたいですね。

宮古に経営情報学科の短大ができるって聞いたのは今年の3月ころかな。地元ということと、実際の仕事に結びつくコンピューターやワープロなどの勉強ができるのが魅力ですね。学校を

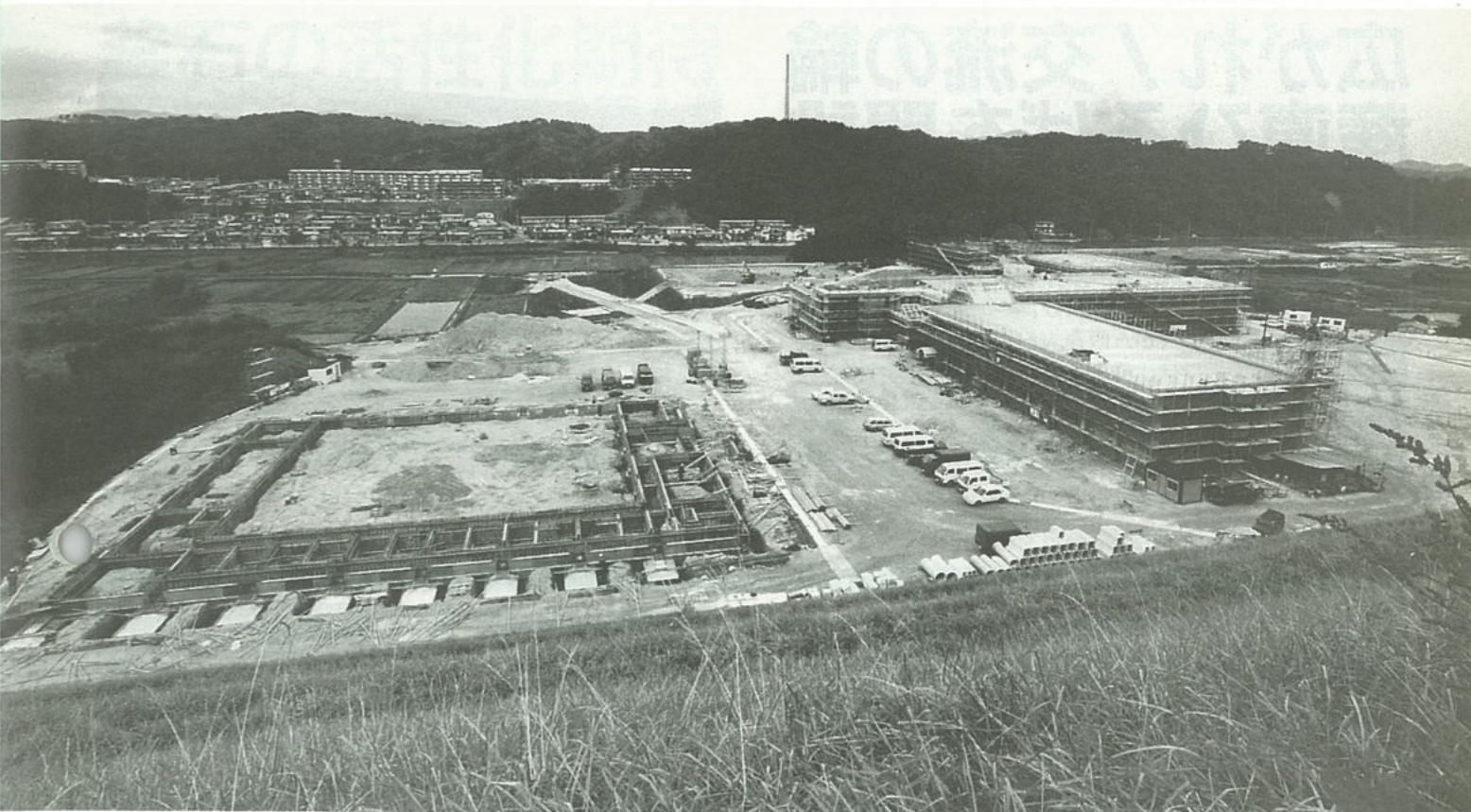
決定する場合、卒業してからどこに就職できるのかということも大きな要素ですから。コンピューターなどを操作する情報処理技術者は、企業から引く手あまたのようですね。

私の志望は、情報処理と文学。少しかけ離れた分野なので、勉強する科目は4科目。今日も数学の補習が放課後にあるんです。

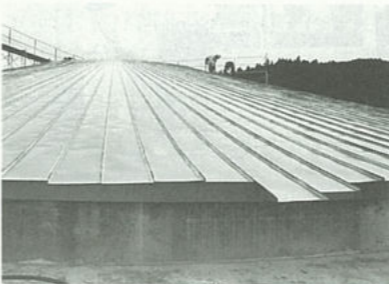
街の声



県立宮古高校3年 湊 聖子さん



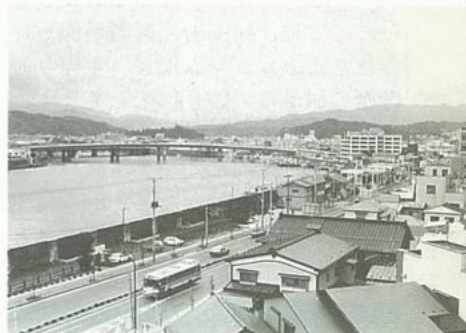
▲左が体育館、右が2階建ての校舎。校舎の後ろに定員80人の学生寮を建設中。八木沢地区は、高校や中学校が所在する文教地区



▲大講義室は「貝」をイメージ化。校舎もシェルカラー(貝殻の内側の色)と海辺の大学をデザイン

校章・ロゴタイプ募集

【応募資格】高校生以上で、県内在住の方及び本県出身者で県外在住の方
 【募集内容】「技術革新、情報化、国際化など変化する時代に適応する人材の育成」、「地域産業、文化の振興への貢献」など、建学の理念にふさわしい校章とロゴタイプの2点
 ①校章(シンボルマーク、図や絵のマーク)
 ②ロゴタイプ(短大名のデザイン文字)
 【応募方法】
 ①規格…カラー作品で、B5判のケント紙か画用紙を使用
 ②作品表面に住所、氏名、年齢、職業(学校名)、電話番号、出身市町村名(県外在住の方のみ)を記入
 ③作品の意図が分かる説明書を添付
 【募集期間】11月1日～12月10日
 【賞】入賞…各1点 賞金10万円
 佳作…各2点 賞金2万円
 【送先】〒020 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁短大開設室
 ☎0196-51-3111



▲宮古の街を通り閉伊川は宮古湾に注ぐ

地域の活性化に期待しています。

今企業が欲しているのは、技術だけでなく、一般的な教養を備え広い視野を持っている人間です。宮古短大が総合科目を取り入れたユニークな教育を行うと知って、期待は大きいですね。

私たちは、3年前から異業種交流による技術開発に取り組んでいます。宮古をハイテク型の地域にというのが私たちの願い。交通の便など内陸に比べてハンディはありますが、発展の可能

性をもった地域だと思っています。大学ができることにより、知識レベルが高度化します。企業が進出する場合、重要視されるのは、技術力ばかりでなく人材もそうです。企業誘致の気運も高まるのではないのでしょうか。また、私たちは産学官の交流に期待しているんです。教授の中に民間出身の方がいらっしゃれば、経験を生かした指導が受けられるのではと考えています。

街の声



宮古異業種交流会会長 斉藤 芳郎さん